

長崎県漁業協同組合連合会長賞

技術革新・人材育成部門



受賞者名: ^{ひらい よしまさ}平井 善正

市町名: 対馬市

主な取組: 対馬で真珠養殖の技術開発と技術普及や後継者育成、母貝の供給を通じ長年にわたり真珠養殖の振興に貢献

1. 取組の概要

- ①昭和56年から人工種苗の生産を開始し、高品質・高生産を目指しつつ対馬の気候に合ったアコヤガイの品種の開発・生産を行い、島内に供給することで、生産高の安定化に寄与している。加えて、平成19年から発生したアコヤガイの赤変病による大量へい死対策として、挿核を従来の3年貝から2年貝へと変えることによるへい死の回避技術を確認し、県内に普及させたことで、生残率の向上とさらに照りと色味が良い真珠の生産に貢献した。
- ②平成5年から29年まで対馬真珠養殖漁業協同組合の代表理事組合長を務め、同組合で青壮年部を設立し、養殖技術などの知見を継承・共有するなど、次世代技術者の連携強化や技術向上に努めている。

2. 受賞理由

- ①対馬の環境にあったアコヤガイの種苗生産と供給や赤変病対策として行った2年貝への挿核技術の普及は、大量へい死の回避だけではなく、真珠の照りと色味といった品質の向上につながり、島内にとどまらず県内の真珠養殖業者の経営安定に寄与し、さらには真珠業界の発展に貢献したことが高く評価された。
- ②これらの取組や青壮年部の設立は、次世代の技術者の連携強化と技術向上に加え、対馬の真珠養殖業の発展に寄与しており、真珠養殖業界の模範となっている。



浜揚げ検討会



青壮年部の挿核試験



アコヤガイの人工種苗